

府市再編の効果 イメージ図

資料2

■ パッケージ案で示した効果額は、現時点で定量化できる節約効果額に限って試算を行い、再編コストとあわせて提示したもの

■ 節約効果は再編効果の本質ではない。府市再編の本来の効果は定性的なもので、もっと大きなもの

意思決定の最適化

- ・ 府市二元行政を見直し⇒府域トータルでの最適化が図られ、投資ロスや二重行政が解消
- ・ 区役所の充実、住民自治の強化⇒地域レベルでの最適化が図られ、各区ニーズに応じた施策展開

※制度を変えたから、すぐに行政サービスが向上するようなものではない。限られた財源のなか、いかに最適化を図るか

府市を再編して

【新たな広域自治体】

意思決定の最適化

◇ 府市の二元行政(二人の司令塔)から
広域機能の一元化

◇ 意思決定が一本化
(府市組織の集約)

⇒府域トータルでの最適化

大都市マネジメント力が向上

◇ 戦略・計画の一元化

◇ 二重行政の解消

◇ 迅速・機動的な対応

◇ 選択と集中の徹底

【特別区】

節約効果額

◇ 遠い市役所、一人の市長から
身近な区役所、複数区長

◇ 区長のもと、住民ニーズ
に応じた意思決定

⇒地域レベルでの最適化

住民応答性が向上

○ 迅速な地域課題の解決

○ 各区のニーズに応じた施策展開

○ 区間競争によるサービスの向上

○ ストックの組換・活用

◇ 民営化・外部化⇒官・民の最適化

◆ インフラ整備・拠点開発の
戦略的投資

◆ 産業政策の推進

◆ 府域全体の安心・安全
(都市防災など)

◆ 都市魅力の向上

● 人口構成に応じた高齢者
施策、子育て施策の充実

● 住宅地、商業地などの地域
特性に応じた施策の選択

● 各区の実情に応じた教育
施策の競い合い

● 各区のメイン課題への集中
投資

大阪の再生